

# 北海之光

3月号 北海道教区報

わたしがここにおります

わたしを遣わしてください

イザヤ書6章8節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

F A X 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

## 「それどころじゃない」

函館聖ヨハネ教会・今金インマヌエル教会

司祭ダビデ 藤井 八郎

冬期に入ると電話の呼び出しが極端に少なくなる。「教会の中は見れますか?」「開いていますか?」「旅行・観

れどころじゃない。信心は徳の余り。じゃー何によって生きるのか。人を突き動かすものは何か。まだあれもいるこ

同様に自分を超えた愛がなければ。愛されていることを知っている者が愛することが

ならない」(王上一七:一四)としたため、本に両手を差し伸べて祈り、私たちを送り出して下さった。家内は、新婚?であって、やもめではないのだが? 私にとっては、

光業者発行誌のまっくらなファックスの承諾と訂正」それどころじゃない。「歴史発掘のための郷土史家からの問い合わせ」それどころじゃない。夏は境内地の草刈り、花の手入れ、日照りが続けば水やりもいる。冬は除雪、礼拝

ものどころか、あの世には何も持っていない。司祭は何をしているのか。施設の入居者、入院治療者・独り住まい・高齢者の訪問で手いっぱい。なら説教準備は? 「だけ

一九七〇年四月室蘭から網走へ赴任の命が与えられた。家内は八か月の身重になっていた。どんな心構えをしていったらいいのか。心が落ちて着かない。ちょうどそのころ

きてこられた。日々の歩み、子育て、宣教牧会の歩み、礼拝そのものである。榎本師が生きた牧会の百分の一ぐらいは、今も生かされているように確信していると思うのだが。

堂人口階段が凍る。誰か転びやしないか。「坂道を登って礼拝だ。聖堂に入れば献金

れどころじゃない。自分のため、仲間のため? 自分の利ではなく皆のため? 人のかかわりがなければ無に等しいのに。自分を誕生させ、生

た。そして一冊の著書を購入しサインを頂くことにした。新任地に赴く状況と不安な思いを短く伝えると、榎本師は、著書に万年筆で「壺の粉は尽

きることなく、瓶の油はなくな

もろもろの献金袋。それどころじゃない。自分の生活がまず第一。年金暮らしに加え物

かし、育て、用いて下さっていることと信じていることができるなら、それは、あの方のためではないか。そうであるなら、

孫への心配り。その通り、そ





—心の窓をひらひら—

# 福音と私(二一四)



—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

平取聖公会信徒

井澤 美恵子



【好きな聖句】

いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい。  
すべてのことについて、  
感謝しなさい。

(口語訳聖書)

テサロニケの信徒への手紙一  
五章一六節〜一八節

まだ田畑に囲まれていた東京の隅っこで育ち、キリスト教系の女子中・高校鷗友学園に通いました。聖書は解りませんでした。種は播かれていたのかもしれませんが。今でもきちんと歌えるのが五〇年も前に歌った讚美歌です。

一九七九年、北海道で結婚することになった時、それも教団野幌教会ということになり、高卒後一〇年以上たった。乳牛は血統書に一頭一頭名前があり、餌の管理も一頭

毎に違うし、百頭もいる牛を遠くからでも見分けられるので、何も知らない私はビックリしてしまいました。生き物を飼うということは朝昼晩一年中休みなく、夜中のお産もあり大変なことだと思えました。

結婚して旭川や当麻で暮らし、子どもにも恵まれました。夏と冬に名寄の道北クリスチャンセンターで開かれる農村青年の学習塾である道北三愛塾に通いました。そこでは聖書を通して学ぶことが基本でした。また、夫と酪農学園同期の岸本主事や後任で現在聖公会司祭の下澤先生の導きがありました。一〇年ほどしてから教団の名寄教会でウイットマー宣教師から一家で洗礼を受けました。当麻から車で一時間以上かけ、子どもを連れて日曜学校に間に合うように通いました。

縁あって敏郎が平取の酪農場に勤めるため一九九〇年に、隣家が見えないほど遠い今の家に引っ越して来ました。乳牛は血統書に一頭一頭名前があり、餌の管理も一頭

私は少ししか作業はしませんでした。牛舎の当番を子どもたちが交代でしてくれました。真冬の夕方の屋外の水やりや仔牛の哺乳作業等きつと大変だったと思います。子どもたちにとっては良い思い出になり、父親とのコミュニケーションの場だったと思います。神さまはいつも子どもたちを励まして下さっていたんですね。

そんな中、翌年五人目の子どもを授かりました。臨月の時に初めて平取聖公会に通うようになり、朝五時から牛舎作業を子どもも手伝ってあわただしく終わらせて通いました。子ども五人のにぎやかというより騒がしい家族を暖かく迎えて下さったのが、江口先生御夫妻と当時はたくさんいらした教会員の皆さまでした。日曜学校も開いて下さり教会に通うのが楽しみでした。

平取聖公会ではバチラー先生が、一四〇年近く前、ペンリウクさんからアイヌ語を教えてもらった、また、たくさんのアイヌの人たちが教会に来たところのように、平取はアイヌ文化の生きている町です。

アイヌ語はほとんど知りませんが、アイヌ文化の保全調査の仕事やアイヌ文化保存会等に入って接するうちに、それは小さな草にも、大きな川の流れの中にも地名や毎日の生活の中にもすでに存在するものでした。ただそれを知らずに生きて来ました。それが、それは神さまの恵みのうちに今私が生かされていることにも通じるものかもしれません。

現在教会の会計を担当していますが、信徒が少ない中でやりくりが大変です。長いこと会計をされていた遠藤正

子さんだったらどうされたかしらと思います。また姉にはお花をさりげなく教会にふさわしく生けるには等と聞きたいことがたくさんあります。旧約聖書を滑らかに読み、時にはオルガニストもされ、とても九〇を超えているとは思えないさわやかで素敵な方でしたが、今年一月末に天に召されました。礼拝堂で悲しみのうちに葬送式が行われました。ほんとうに教会が寂しくなりました。

今の牧師内海先生は分かりやすく素晴らしい説教をされます。次々と新しい聖歌も教えて下さいます。そしていつもにこやかで教会を明るくして下さる鏡子夫人がいっぱいいます。毎週共に聖餐にあずかる喜びがあり、また礼拝後のお茶はとて癒されるひと時です。

現在、子どもたち五人は独立し、夫と二人暮らしです。私は六八歳で、訪問介護ヘルパーをしています。教会と仕事として毎日の生活の中で、出来ることをなさいと神さまがそなえて下さった恵みに祈りつつ、皆さまに支えられ感謝しながら過ごしています。

現在教会の会計を担当していますが、信徒が少ない中でやりくりが大変です。長いこと会計をされていた遠藤正

常置委員会報告

第四回二月一三日

協議事項

- 一、人事異動に関する件  
主教より提案の諮問を協議し同意した。
- 二、信徒奉事者推挙の件  
各教会より推薦された信徒

- 奉事者を推挙する事とした。
- 三、植松主教海外出張の件  
インドのバンガロールで開催されるアジア宗教者平和会議への出張を承認した。(四月一六日〜二〇日)
- 四、石坂み多子司祭退職に関する件  
教区教役者給与規定に基づ

き、退職慰労金の支給を承認した。

- 五、三浦千晴聖職候補生志願者聖公会神学院入学の件  
聖公会神学院入学試験の合格を受け、修学期間三年間を予定することとした。入学式は四月三日。
- 六、エンディングノート作成



主教室より

「そだねー」。ピョンチャン冬季オリンピックで、北海道勢は大活躍。カーリング女子での選手たちの競技中の笑顔と「北海道弁」は人々の心に癒しの効果をもたらしました。

今月二二日は私が北海道に派遣されて二二年目の記念日です。初めての北海道での生活は、驚きや戸惑い、また感心することばかりでした。この北海道という厳しい気候条件に根ざした、いわゆる「方言」も興味深いものでした。

自分の意志とは反対に物事が始まったり進んだりすることはよくありますが、特に自然の厳しさの中では

そのようなことがよく起こります。こんな言葉を皆さんも使

っておられるでしょうか。例えば、自分が押してもいないのに、押した状態になっていることを「押ささる」とか、自分は開けていないのに、勝手に開いてしまっているときに「開かさる」とか。自分の意志とは反対の結果が出たときに使うこのような言葉は、「仕方ないなあ」というユーモアも含んでいるように思います。

人生、思った通りにはいかない。そこで落ち込んでしまつか、あるいは「仕方ないなあ、この状況。でも何とかなるさ」と別の方向を向いて気を取り直すか。北海道の人たちは、気持ち

を切り替えたり、笑って行き過ぎたり、待ったり、別の道を探すのにとっても優れているように思います。

神様を信じることは、ある意味、押ささってしまったり、開かさってしまったりの自分の人生も、意味あるものとしてお委ねしていくことだと思えます。

聖週(受難週)に入ります。王として来てくださったはずのイエス様が、なんと、最も惨めな刑に処せられ、死んでいかれる週です。死という闇は、こんなはずではなかったという私たちの人生の究極。そこに、闇では終わらないという復活の命の約束であるイエスターが訪れるのです。

主教 ナタナエル 植松 誠

に関する件

法律家の助言を受ける事を含め、今後の作業を進める事とした。

- 七、稚内聖公会の件  
現況について報告を受け、継続審議とした。
- 八、厚岸聖オーガスチン教会の件  
現況について報告を受け、継続審議とした。

堅信式受領

おめでとう

旭川聖マルコ教会  
マザーテレサ 野村 真由美  
コルネリウス 臺 利久  
(二月二五日)

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

四月一日(水)

午前一〇時三〇分  
於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。  
司祭 ジョン・バチラー  
一九四四年四月二日  
司祭 宇田 梅太郎  
一九五一年四月三日

主教	上田 一良	一九七二年四月五日
主教	天城 英明	二〇一〇年四月五日
伝道師	ルイザンデレスバチラー	一九三六年四月六日
司祭	荒砥 琢哉	一九三一年四月一三日
伝道師	田中 末吉	一九七八年四月一四日
伝道師	芥川 清五郎	一九二七年四月一五日
司祭	木村 信一	一九七八年四月一五日
司祭	小貫 安貞	一九七一年四月一六日
伝道師	臼田 うめ	一九五八年四月一八日
伝道師	メイ・シエーン・オックスラド	一九二二年四月二〇日
伝道師	辺 泥 五郎	一九五四年四月二三日
司祭	山田 安間	一九二四年四月二四日
司祭	小貫 嗣夫	一九八一年四月二五日
伝道師	江賀 寅三	一九六八年四月二八日
伝道師	バチラー 八重子	一九六二年四月二九日
司祭	篠塚 長治郎	一九五〇年四月三〇日



▽旭川聖マルコ教会

雪深い旭川です。二月第一週はレクイエム。礼拝後に堅信受領者総会を開催し主の証し人としての歩みを始めました。灰の水曜日礼拝には保育園職員も参加。額に十字を頂きました。

大齋節第一主日は広谷司祭稚内の為、石坂みゑ子司祭の司式説教、二五日の主教巡回日は親しく礼拝や諸行事で一緒に一緒にいた臺利久さんが洗礼堅信式を、野村真由美さんが堅信式を受けられ家族となりマルコ一同、主に感謝し大ニコニコの一日でした。主にご夫妻と教父母の甲斐司祭、ご夫妻も交え楽しい祝会でし

保育園は残り少ない今年度を思い切り楽しんでいきます。

▽岩見沢聖十字教会

教会でも愛餐会の時、平昌オリンピックでの日本人選手の活躍に大盛り上がり。会場にはためく「日の丸」の美しさ、選手の活躍に感動。

石坂みゑ子司祭が今年度で退職される事を知る。毎月一回、岩見沢での礼拝を楽しみにしている信徒。最後の礼拝も心からお捧げする事を願う。

園で角の隣接地を取得。長い間、大友正幸司祭が角地の取得を願う。ようやく夢が実現。将来の教会での宣教と園での幼児教育の働きに活用される事を一同期待する。

▽有珠聖公会

二月四日、植松主教様の巡回をいただく。当日は、大町司祭不在のため、苦小牧より吉野司祭が聖餐式の補式に駆けつけて下さる。

二五日、堅信受領者総会。伊達に長くご生活の茅野達雄さんが札幌キリスト教会より

有珠聖公会に教籍を移された事を最初に歓迎し、多くの教友と共に今年の夢、教会の歩みについて熱く語り合いました。

昨年

に続いて、四月三〇日、「三浦綾子読書会」を同

文学記念館の森下辰衛先生をお迎えして実施の予定。今回

のテーマは、三浦綾子さんの

自伝「道ありき」を扱います。是非、お訪ねください。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

四月、礼拝中、教会委員・信徒代議員の任命式、信徒奉

事者の祝福式を行う。七日、厚岸聖オーガスチン教会の会計整理を会計と司祭で。一四

日大齋始日礼拝を一〇時三〇分、一一名で。ある女性の方

が、十字の印を消さずにいたその理由が「主人に見せるため」。

「額と額をくつつけるのね」とある方、皆お幸せの笑顔で散会。

一五、六日園長・チャプレン協議会には園長と司祭出席。最近カトリック信徒の方

時折来会、聖書に関心あるよううで、交わり深まればと期待しております。

厚岸

聖オーガスチン教会では、火災保険の更新等の事務

手続き等、一つ一つの対応です。

▽新冠聖フランシス教会

今年はこの地方もそうでしょうが、この温暖な日高でも雪の多さには「こんなのは初めてだナ」という具合です。

その大雪のあった二月六日

(火)、教会に八名の婦人たちが集まって「料理講習会」が開かれました。講師は奥田貞

子さんと、品目はウグイス餅です。クリスマスに頂いたものが絶品で、是非教わりた

いものとお願ひした次第でした。もちろん、牧師もお相伴

に与りましたヨ。

この間、牧師は万世の溝尾さん宅を訪問してきました

が、道路の境目を示す矢印が頼りでした。

▽帯広聖公会

二月初旬、寒い日が続くな

か、緑ヶ丘公園では氷祭りがあり雪像や水像、花火を楽しめました。四日、松井司祭に

司式をいただいた後に堅信受

領者総会が開かれました。昨

年一二月から松井司祭、永谷司祭に司式をお願いしていま

すが、これからの当教会の在

り方を含めて考える良い機会をいただいているのかもしれない

ません。神様は乗り越えられない

試練を与えられることはないでしようから。

二一日、尾関敏明兄のお母様尾関房子さんが天に召されました。魂の平安をお祈り申し上げます。

▽小樽聖公会

二月四日に堅信受領者総会が開催され、すべての報告と議案が承認されました。この

一年の教会をふり返り、教会が宣教の器としてさらに用い

られますようにと祝福と導きをお祈りしました。

大齋始日(灰の水曜日)礼

拝が一四日に行われ、しゅろの十字架を燃やした灰で額に

十字のしるしを受けました。

礼拝後には大斎節の学びもなされ、永谷司祭による使徒聖パウロの宣教について、スライドを交えながら学びました。

二五日(日)は永谷司祭の帯広聖公会奉仕。信徒による司式、奉仕分担で「み言葉の礼拝」をお捧げいたしました。

▽留萌キリスト教会

いつもより雪が多く、吹雪も多いこの冬です。大斎始日はホワイトアウトで危険が多いため、信徒は自宅で祈るようにお勧めした次第です。

大斎節は読書会。今年はローワン・ウィリアムズカンタベリー大主教著「信頼のしるし」に挑戦。難読漢字に苦戦しつつ、疑問点を話し合いながら熱気を帯びて取り組んでいます。「そだねー」の他にも北海道弁が次々と飛び交う読書会、お見せしたいです。

▽函館聖ヨハネ教会

二月に入り日差しは少し暖かくなったが、降雪量が観測史上二番目、道路状況の悪さも記録的な函館地方。

四日、一週間遅れの堅信受領者総会。聖堂修復工事について話し合われる。

一日、昼食後「教会のアート」二〜八六才までの老若男女の一六名が「揺れる羽根のオブジェ」を作る。皆、笑顔。

一四日、今年から始まった、男性グループの昼食当番日。司祭が指揮をとり、前日から準備を行い出来たのが「美味しい塩焼きうどん」後二回、作る側も食べる側も楽しみ？

大斎期間中の学びも決まり、三月を迎える。

▽平取聖公会

先の教会日より雪の少ないと書いた平取ですが、その後いっぱい降って、さらに寒さも厳しいため、雪が降り積もっています。三月に入った今日も一日雪です。

大斎節に入り聖餐式の中で灰の十字架を額にいただきます。四月一日の復活日までの期間を断食とまでは行かなくても、イエス様の苦しみの一端を感じることでできる時

にできればと願っています。

保育園は卒園式の準備と次年度の入園児の募集に忙しい日々が続きます。職員の皆様健康を祈ります。

▽稚内聖公会

二月一七日、翌日の稚内の礼拝のため旭川駅に行く。猛吹雪のため稚内方面はすべて

運休。やむなく翌朝の「特急宗谷」で出発。ところが：名寄で止まったまま。お天気は回復したのどうして？車両からオイルが漏れて、そのまま走るとかなり危険な事態になった由。仕方なく名寄発の普通列車で旭川に帰還。思えばちょうど三五年前、同じようなことがあり、引き返したのはやはり名寄であった。というわけで、二月は電話による牧会となる。三月を楽しみにしよう。「そだねー」

▽室蘭聖マタイ教会

二月四日大町司祭による聖餐式、礼拝後堅信受領者総会。前日室蘭にしては大雪のため、司祭は列車で来られる。総会は会計中心に話し合わ

れた。一日主教様巡回。

三千代さんインフルエンザのため来られず残念。亡くなられたご父母の事を説教でお話し下さり、愛さん会も愉しく過ごす。一八日藤井兄によるみ言葉の礼拝。二五日大町司祭と共に美幸さんがいらして聖餐式。六年間の管理牧師であった大町司祭から三月

二五日で退任、吉野司祭後任と伺い、皆淋しさで一杯ですが教会を守る決意。

▽聖マーガレット教会

二月四日、聖餐式後に信徒二五名で信徒総会を開催、会は委任状三九名の提出により成立。二〇一七年の決算と新年度の予算について審議、承認しました。年々出席者が減少しているようで少し淋しいです。

一八日、主教さんのご巡回、司式、説教のご奉仕をいただき信徒一同感激！愛餐会ではご同道いただいた奥様と婦人たちの会話も弾みました。一四日午後七時からの大斎始日礼拝には五名のみ出席。

二八日は、婦人会とお仕事をネビル館で行いました。

▽網走聖ペテロ教会

新年の総会が二月一日(日)に行われ、互いのビジョンを分かち合い、新しい出発をいたしました。賛美と諸作業のペテロの会や学び会は毎月守られています。学び会には合唱団の方もお加わりくださるようになりました。

二五日(日)の聖餐式の中で灰の十字架のしるしをいただきました。三月一九日(日)に佐藤一弘・恵子ご夫妻宅で大斎家庭集会が行われます。教会駐車場の除雪は業者が行っていますが、二つの出入口や玄関前等はホームの青年達の助けもいただいています。

▽今金インマヌエル教会

二月は一日と二五日に礼拝を守りました。二五日の礼拝のあと藤井司祭の七七歳の誕生日を八号のケーキとお茶で厳かにお祝いしました。決して若いとは言えない年令ながら、ここ今金はじめ札幌方

面等八面六襞の動きには誠に頭が下がる思いです。感謝。

その後、キングスカレッジ聖歌隊によるクリスマス礼拝のDVDを信徒の皆様と共に鑑賞しました。せめて今年の年末には函館のクリスマス礼拝に参加させていただきたいねと話していました。誕生会にかこつけて、大変素敵な時間を過ごさせていただきました。

#### ▽北見聖ヤコブ教会

大荒れの日や除雪作業のせいか「雪」の印象が強いのですが、積雪量を見ますと決して降雪量は多くはないようです。二月三日(土)に世界祈祷日準備会がカトリック教会であり朗読箇所が決まりました。一八日(日)の聖餐式の中で悔い改めのしるしとしての灰の十字架のしるしをいただきました。体調を崩されていた方が時々教会に見えられないようになり、心より感謝。

主日の朝にストーブを焚いて温め、水出しをし、皆様が帰られてからまた水落としをし

している北見でした。

#### ▽札幌キリスト教会

厳しい寒さの続いた二月、一日高橋一雄さん、二二日見瀬哲吉さんのお二人の教友を御国に送りました。一四日灰の水曜日、皆で額に十字架のしるしをいただき、大斎を迎えました。昨年からは毎月第三主日午後五時から行われている英語礼拝も回を追うごとに参加者増えて喜ばしい限りです。聖職候補生志願者の三浦千晴さんが神学校の入学試験に合格され、大斎節に希望の光を灯してくださいました。感謝。

#### ▽紋別聖マリヤ教会

例年よりも寒い日が続く、春の訪れはみじんも感じられない二月でした。それなりに流水も接岸し観光客には喜ばれた様子です。

四日、定例教会委員会は阿部司祭宅で行われ、その後新年会を兼ねた昼食会が持たれました。たった七名ですが、

ボードゲーム等を楽しみながら、和やかで楽しい一時が与えら

れ感謝でした。

幼稚園では、雪中運動会やそり遊びなど、冬ならではの活動が盛り沢山。子どもたちは元気いっぱい過ぎています。

#### ▽札幌聖ミカエル教会

約三〇年にわたって運営されてきた札幌聖ミカエル国際青年寮が、来年三月を以て閉寮されることとなりました。設立以来、多くの外国人留学生と日本人学生が共同生活し、豊かで独特な寮生活が行われました。しかし、近年は

留学生の生活環境も変わり、邦人学生のみ状態が続いていました。今後は、教会の大切な宣教活動として、新しい展開を模索してまいります。

一四日大斎始日、午後七時から灰の水曜日礼拝を行う。敬虔の中にも静かな喜びのある大斎節を過ごすべく、祈りを合わせました。

#### ▽深川聖三一教会

二月四日信徒総会、婦人会総会、被献日の礼拝。九日保育園職員会議、主任からイン

フルエンザ対策の指導あり。

一四日大斎始日礼拝が石坂司祭により荘厳に挙行。一五日施設長・チャプレン協議会に岡本園長、甲斐チャプレン出席。施設の「五年後・一〇年後の展望」を語りあった。

一八日旭川へ、二五日留萌へ石坂司祭は協働司祭としてお別れのため出向礼拝に参る。二五日木村夕子司祭礼拝司式に参られる。隣家の戸松さんが車庫屋根の雪おろしてくださる。感謝。

#### ▽苫小牧聖ルカ教会

雪は少なめで寒さも緩むかと思われましたが、やはり二月は厳しい寒さでした。

四日の教会委員会で、ヒムプレーヤーを購入する事に決まりました。一日、世界祈祷日に備えてマーマレードジャムを作りました。二〇日の歌と祈りの集いには四名が参加。テゼの歌を歌って黙想し、静かなひとときを持ちました。

聖ルカ味噌は園児にも好評のため、今年は更に仕込み

量を増やして九樽です。三回の作業には延二〇名以上が参加しました。出来上がりは来年九月の予定です。

#### ▽新札幌聖ニコラス教会

一四日、大斎節に入り、当教会では大斎節プログラムとして下澤司祭、上平聖職候補生による学びの時を持ち、復活日を待ち望みつつそれぞれの信仰を再確認する。

三月一八日の大斎節第五日にはアッシジの旅から戻られた雨宮寿子さんから巡礼の様子と証しをいただき分かち合う予定。

上平聖職候補生の尽力でベストリーの整理整頓が進み、加えて帰省中のマナ修女のご厚意により備品が更新され感謝。

